

シルバー

ところざわ

◆発行 社団法人 所沢市シルバー人材センター広報部会 1997.10月15日発行

No.60

聞く喜びと社会参加の輪を拓げよう

十月はシルバー人材センター 事業普及啓発促進月間です！

理解され実施項目について会員
皆様の積極的ご協力をお願ひい
たします。

一、趣旨

シルバー人材センターは労働
意欲に満ちた会員の労働能力の
活用と、生きがいの充実を図る
ため、地域社会に深く根をおろ
し公共各機関、事業主、一般市
民のご理解、ご協力が得られな
くてはなりません。

従つて、センターの仕組につ
いて普及啓発活動を地域全体に
広め、受注が得られますよう具
体的要請を求めて行くことを運
動の趣旨とします。

二、実施事項



毎年十月一日から三十一日ま
での間、事業普及啓発促進月間
が全国統一運動として展開され
ます。

そこで当シルバー人材セン
ターでも今年度は、事業部会で
種々検討の結果、次の事項の実
施を決定いたしました。趣旨を

- 十月二十五日～二十六日の両日
にわたつて盛大に開催される
第十八回所沢市民フェスティ
バルに参加、相談コーナーを開
設する等センターの積極的な宣
伝を行う。
- 市広報紙へのシルバー事業の
内容掲載宣伝。
- 仕事の内容を解説した「リ
フレット」の配布。
- 未就業会員に対する積極的な
就業意欲の呼びかけ。
- 多様な福祉・家事援助サービ
ス事業に対する就業意欲の推
進。

|| 安全委員会だより ||

「'97 安全就業強化月間」

運動を終えて

本年度も七月一日から七月三十一日までの一ヶ月間、「安全就業で地域に広がるシルバー事業」を統一スローガンとする「安全就業強化月間」運動が全国的に展開された。

当センターでも種々検討を重ね、六月十日(火)開催の安全就業推進委員会で会員各位に対する運動の趣旨徹底と、活動計画を決定する。

先ず期間に先立つ六月十三日

(金) 予め用意された活動キヤンペーンパンフを、当月就業会

員については、配分金支払日に直接、口座振込会員については振込通知書に同封、その他会員の方々には地区委員が各戸訪問、全会員に対し漏れなく配布、運動の趣旨と活動内容の徹底に万全を期した。

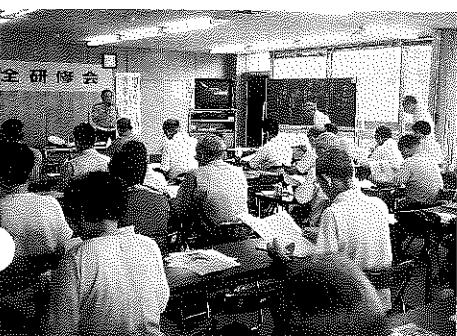
そして運動期間初日の七月一日には安全委員が二班編成で会員就業現場を巡回、安全就業(服装、使用器具等の点検)をチェックすると共に、激励する。

以後途中で、雨の日、涼しい日も多少あつたが、気象庁観測史上例を見ないという四十五度を超える猛暑が各地で観測され、埼玉県内でも七月七日には越谷市で四十二度、当所沢市でも七月九日には当日では全国一の三十九・六度が計測されるなど、猛暑の中での運動月間となる。

幸い会員皆さんのが暑さにめげない活躍と、頑張りで、スローガンの一つ事業実績の向上については、目標を上回る成果を収めていると聞き、依然として不況感減入る中何よりも喜び。



平野交通課次長講話 (7/1 安全研修)



会場満員の受講会員 (7/1 安全研修)

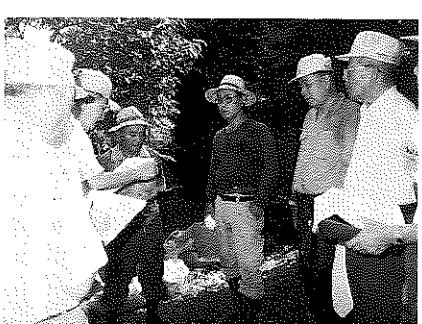
然し肝心な安全就業の面では、期間当初の六日及び二十一日に傷害事故(打撲傷と骨折)が発生、何れももう一步注意を深めて頂けたなら未然に防止しえられた内容のもので只々残念の一語。

「事故を故意に起こそうと思っている人などいない。だから多少の事故はあっても止むを得ない」と言ってしまえば、事故ゼロの達成など夢の又夢となってしまう。無事故とは元々そんな困難への挑戦である。

今回の運動に当たって、期間中その目的を果たすことはできませんでしたが、今後の日々はまた夢の実現に向けて挑戦を重ねて行きたいと思う。私達会員にとってそれが最優先の課題、

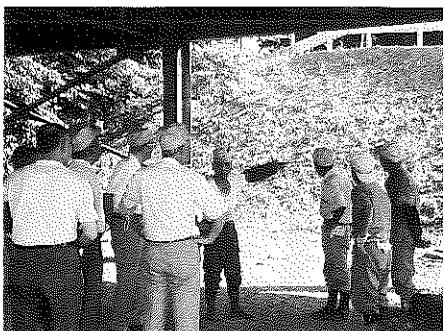
且つ大切なことだから。

期間の半ば七月十五日(火)には運動の一環、安全研修会を所沢警察署平野交通課次長を講師に招き、「高齢者の交通安全」と題し講話を聞く。会場には多忙の中五十三名の会員が参集。講師の平野次長の講話は、酒は好きだが、ああしてい「レバ」こうしてい「タラ」とかレバ、タラは大嫌いなどウイットに富んだおもしろ、おかしく、然も有意義な講話。終わって、今は亡き東野英治郎扮する初代水戸黄門の交通安全漫遊ビデオを観賞



安全委員植木剪定現場観察激励

研修会は終了する。研修終了後、聴講並びにビデオ観賞について出席会員全員皆さんから、感想、ご意見等についてアンケート。その中で「自己認識を過信することなくこう



炎暑の中除草作業現場巡回激励

した研修会、講習会に努めて出席、初心に返つて“学ぶ”ことが何より大切」また「隔月位にこうした研修会、講習会が開催されてよい」など謙虚な感想が寄せられ感動する。

期間最終日の七月三十一日

(木)には、安全委員、地区委員全員に矢島専務、山川次長を交え合同反省会を開催する。当然ながら当センターの、平成八年度及び九年度、同年度埼玉県警管下、所沢警察管内の交通事故の発生集計及び分析表の資料に基づいて討議・課題、問題を抽出記録、今後運営、運動の中で活用し又必要事項については実施に移すことを確認し反省会を終了、本期間すべての運動を終了した。

シ協、その他埼玉県警管下、所沢警察管内の中除草作業現場巡回激励

（その他）

山川次長の司会で定刻開会、伊藤事業部会長の挨拶にも力が入る。

景気低迷で一応の実績は收めているものの顧客開拓は思うに任せぬ一方、会員の新規入会希望者は益々増加の傾向。従つて折角入会された方々に一人でも多く就業する機会を得て頂きたく努力しているところにもかかわらず、その就業率の向上は仲々意に任せず、苦慮しているところ。

そうした中、五十八才で定年時レタリング技術を習得、略十

かねて会員各位に呼びかけていた“レタリングをやってみませんか……”講習の説明会が、なお残暑厳しかった九月三日（水）午後一時三十分よりセンター会議室で開催された。

二十名程度の希望者を想定、会場を設定して、待つたところ、続々男性会員五十名、女性会員十名合計六十名が参加、主催者は嬉しい悲鳴で座席の増設に大わらわ。



レタリング講習 澤口理事（講師）と受講会員

レタリングをやつてみませんか…… （有望独自事業）

説明会に続々……六十名参集

（有望独自事業）

年の経験を積まれ、作品の依頼を現在も受け、事業部会員でもある澤口理事からレタリングによる看板書き等独自事業開拓の提案。時宜を得た提案で早速事業部会で具体的な実施計画を検討、先に開講内容を会員に紙面案内、本日ここに予想を遙に超える会員の方々の参集を得て説

明会を開く運びに至った、と経過の説明と趣旨の挨拶。講習の具体的な内容については引き続き澤口理事より説明致しました上で、是非多数の方々が講習会に参加され技術を修得され、趣味を実益に換え事業化の実現を期してもらいたいと結ばれ、澤口理事の講習内容の説明に入る。

澤口理事からは予め用意された実習予定（略一年間）必要な用具の準備等について説明、開拓される分野は広く、事業化は有望であると、自信の程を示された。

そしてこの技術を会員皆さんのが修得され、事業として成功するか否かは、かかって皆さんの“ヤル氣”的有無による。是非生きがいの一部と考え真剣に取り組んでもらいたいと結ばれ、以後細部技術、心構えについて説明がなされ、大いに希望の持てる説明会であった。

参加会員の質疑等があり、概ね左記内容で受講会員の申込を受け、概ね十月開講を目指に進められることとなる。（なおこの記事が皆さんの手元に届く頃には開講の運びとなっていることを思ひます。）

記

一、開講日時

毎月、第一、二、四水曜日

一、開講場所 センター会議室

一、受講期間 各種実務概ね一年余

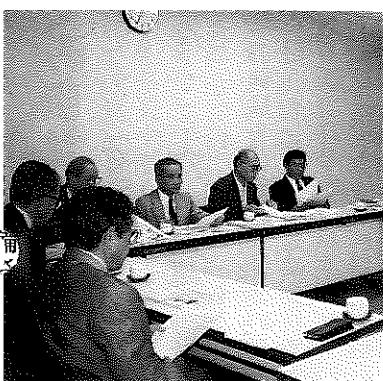
一、会費 一ヶ月三、〇〇〇円
(受講人数により増減あり)この講習会が成功し、参加会
付記

員が技術を修得されれば、将来極めて有望な独自事業となり、所沢市内公私各館会場で開催される、講演会、講習会、研修会、祝賀行事などのタイトル看板、各商店店頭の諸看板が、当センター会員の作品で、賑々しく飾られ、多くの客が呼び込まれることが想像され、なんとも楽しみ。

小平市シルバー人材センター を会員安全就業研修訪問

台風十九号が九州各县を襲い、更に瀬戸内海を渡つて中国地方各県を横断各地に洪水、家屋浸水・土砂崩壊等の被害を残し日本海に抜け去つて行つた九月十七日(水)、幸い関東地方は直接の影響は受けなかつたものの、残暑と秋氣をない交ぜたような陽気の中、当センター安全就業推進委員会では、東京都小平市シルバー人材センターの会員安全就業対策の内容を研修させて頂きたく訪問する。ご多忙の中、滝島常務理事さん始め、担当役職員の方々のお出迎えご列席を頂き先ずは恐縮

する。小平市は都心から程近い地点ながら武藏野の面影が未だ色濃く残る住宅主体の地域で、一方一つ橋大学のキャンパスを始め多数の大学、学園が集う落ち着いた雰囲気の学園都市。そんな地域の中心、学園東町小平市役所に隣接する市の各種福祉関係団体同居の福社会館内四階の一室が小平市シルバー人材センターの本拠。平成八年に創立二十周年を迎えた伝統ある先進センターで、豪華な記念誌等も頂戴する。準備整った会議室にご案内を



頂き、滝島常務理事さんから先ず歓迎のお言葉を頂き、続いて当センター長野委員長が、訪問についての謝礼と目的、そして市の人口、会員構成、委員会の運営と活動、事故の発生状況など概略説明を行う。続いて小平市八島安全委員長さんから、同センター平成九年度は左記三項目を活動の要点として展開して行かれる旨概要説明を頂く。

記

一、センター行事(班会議、クリエーション等を含む)参加会員の傷害(含賠償)保険制度の導入適用

一、会員就業現場の巡回指導(十一名の安全委員による)の新設
一、就業上傷害事故防止対策の徹底
以上両センター委員長の主題

説明を経て、相互交換資料に基づいて担当者(安全就業推進員)より細部の説明に入る。先にお粗末ではあるが、当方センターが用意した資料に基づき、安全就業確保チラシ(毎月発行)会員就業現場巡回と結果報告、平成八年度及び九年度に入つての傷害事故発生状況と内容について説明する。
引き続いて小平市井上安全就業推進員さんから重点運動計画の細部、特にセンター行事参加会員傷、損害新保険導入(近隣八市連合)に当たつての経過、ご努力について説明を頂く。
現行シルバー保険が適用されない部分の救済的内容で、センターの善意が会員各位に浸透安心と連動、安全就業推進の一環となることを念じ、当センターにとつても今後主要な課題として取り組む必要を感じられる。その他各資料に基づき極めて参考となる事項について研修させて頂き誠に有意義な研修訪問となる。
最後当センター矢島専務が、有意義な研修訪問に始めて参加させて頂きましたと謝辞を申し述べ略予定時間に辞去する。実り多いこの度の研修訪問であった。

市民生活を潤す……

シルバー人材センターをPR

II 所沢市民フェスティバルに参加

第十八回所沢市民フェスティバルが本年も所沢航空記念公園を会場に十月二十五日(土)~二十六日(日)の両日挙行される。当センターでも会場内福祉団体コーナーの一画を確保、婦人部会員はじめ会員の「作品展示即売」と「シルバー相談コーナー」を設けて、シルバー人材

センター並びにセンター事業のPRに、実行委員と婦人部有志の皆さんが当たる。会員の皆さんも万障繰り合わせ、知人、ご友人等誘われてコーナーを訪れ、奮闘する会員の皆さんを激励されると共に、作品購入などPRの一翼を担つていただければ幸い。

・マフラー・エプロン・雑巾
・諸種アクセサリー・竹
・その他いろいろ。

(シルバー人材センター事業普及啓発促進月間運動の一環です)



なお、展示即売は概ね左記の品々です。センスと格安が魅力。完売を目指しておりますのでよろしく。

創立二十周年記念行事 実行委員選任委嘱される

II 第一回実行委員会開催

シルバーだより第五十九号(七月十五日発行)で実行委員会に参加下さる会員の方を募集いたしましたところ、多数の会員から参加希望の申出を頂き、抽選の結果各セクションから選任された方を含め左記の方々が八月十九日(火)委員に選任委嘱され、九月二十六日(金)第一回実行委員会が開催されました。

会議では記念式典並びに記念誌編集等基本構想を論議、今後回を重ね諸行事の実行に万全を期し、シルバー人材センターが地域で果たす役割が益々高まる中、意義ある記念行事となる体制が整い発足いたしました。

制が整い発足いたしました。

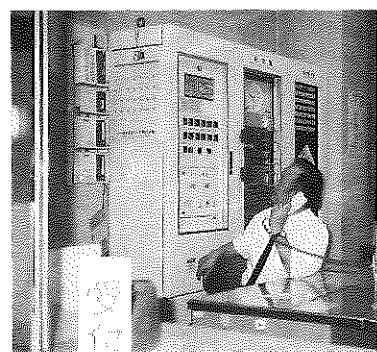
実行委員長 記

伊藤 政一(理事選出)
実行委員

伊藤

長野 兼松きのえ(クク)
梶 畑 瑞穂(クク)
深川 隆允(クク)
(藤原訪問記)
(次回は駅前自転車整備現場)

所沢市斎場は市の南東、所沢聖地靈園に隣接する武藏野の面影を残す緑の濃い静寂な一角にあり、通夜、告別式が一貫して行える火葬場で、本年四月から当シルバー人材センターが夜間の管理を新たに引き受けた職場です。



職場めぐり

所沢市斎場

所沢市斎場は市の南東、所沢聖地靈園に隣接する武藏野の面影を残す緑の濃い静寂な一角にあり、通夜、告別式が一貫して行える火葬場で、本年四月から当シルバー人材センターが夜間の管理を新たに引き受けた職場です。

才の五人の会員さんが二人一組で交替で勤めています。「早番、翌日遅番、その翌日休みのローテーション勤務ですが、仮眠時間もあって辛いこと

はありません」とのことでした。「掃除も行き届いており、いつも花など飾つてあって、きれいな職場です」とも……。真夜中に火葬炉前や霊安置室を巡回するのは気味悪くありませんか」と質問したら、「きれいなオバケが出ないか」と期待していたんですけどねえ」という答えでした。

余聞ながら日本の火葬率は九八・五五%でダントツの世界一、(因に二位は香港七六%)だそうです。

(特別会員選出)

実行委員

澤口	富保	(部会選出)
五社	重雄	()
岸	啓二	()
村上	和枝	()
藤原	知直	(会員希望)
三橋	正一	()
三田信治郎	()	()
	以上	



シルバー・ドライバー
運転適性検査に参加して

(吾妻地区)
肥沼 清作



吾妻地区 村上 和枝

広島市平和祈念式典に参加して

所沢市は、平成二年に「平和都市宣言」を制定し平和に対す

り、それに対処するためとのこ

とでした。
高齢者の交通事故が多発する原因として、加齢とともに特に視力、反射神経など身体的機能の低下は避けられず、その度合いをコンピュータによる運転検査システムによる検査を受け、

その指導員の方の適切な指導を個々に受け私なりに反省点があり、今後運転に当たつて大いに役立ちました。

この度の講習で私が一番感じたことは、安全運転の秘訣として危険はいたるところにあり、それを予測し落ち着いた対処をして運転するということでした。

この度の講習で私が一番感じたことは、安全運転の秘訣として危険はいたるところにあり、それを予測し落ち着いた対処をして運転するということでした。

今回の運転適性診断の目的は最近人口の高齢化が進んで、運転免許保有者の中に占める高齢運転者の率が高くなり高齢運転者にかかる交通事故が年毎に増加、深刻な問題となつてお

る。高齢者の運転適性診断は現在まだ任意ですが、何れ義務づけられることでしたのが年一回くらいこうした検査は、他人に優しい安全運転を確保するためには是非必要だと思いました。

所沢市は、午前十時に所沢警察に集合用意されたバスで親切な警察官の案内でセンターに到着、適性診断を受け自分なりに有意義な一日を過ごしました。

所沢市は、午前十時に所沢警察に集合用意されたバスで親切な警察官の案内でセンターに到着、適性診断を受け自分なりに有意義な一日を過ごしました。

所沢市は、午前十時に所沢警察に集合用意されたバスで親切な警察官の案内でセンターに到着、適性診断を受け自分なりに有意義な一日を過ごしました。

所沢市は、午前十時に所沢警察に集合用意されたバスで親切な警察官の案内でセンターに到着、適性診断を受け自分なりに有意義な一日を過ごしました。

公園は翌日の慰霊式を待つばかりになつていました。
慰霊碑に参拝し、消えることのない平和の灯火の彼方に原爆ドームの前に佇んでいると五十年前受けた衝撃とは、あまりにも隔たりがあり過ぎて何か

ドームは静かに立つています。夕方また雨に降られながら空の中式場に向かいました。受付で花を一本頂き献花し座席に着席して待ちました。蟬の声も三十万とも云われる犠牲者の声の様に、土の中から沸き出て来るのではないかと錯覚する程度でした。

八時式典が始まり八時十五分に黙とう、平和の鐘が鳴り響き中学生の奏てる鎮魂曲も被爆した音楽家が三十年の歳月を経て、やつと作曲する気になつたとされていますが、犠牲となつた方々の歎哭の叫びに聞こえました。

科学は私達に快適と便利さを与えたが大量殺戮にも使われ、人類の生存や地球環境にも大きな影響を与えています。今なお核を持つ国は後を断たず平和を望みながら世界の各

地で紛争が絶えません。一人一人は戦争の無い世界に……と、そうした思いを持ちながら、何故平和に暮らせないのかと怒りを覚えると共に、人間として私自身ができる事はないかと深く胸に問いかけました。五十二年目にしてようやく辿り着いた

会員親睦旅行「元善光寺」

会員親睦旅行「元善光寺と黒部ダム」へ

中央地区 佐々木 豊

そうした思いを持ちながら、何故平和に暮らせないのかと怒りを覚えると共に、人間として私自身ができるのではないかと深く胸に問いかけました。五十二年目にしてようやく辿り着いた

道でした。
二十一世紀を前にして戦争を
知らない世代に語り継ぐ責任を
私達体験者は自覚しなければな
らないと思い、是非会員の皆様
も一度は広島祈念式典に参加さ
れることをおすすめします。何
かが変わる気がします。

道でした。二十一世紀を前にして戦争を知らない世代に語り継ぐ責任を私達体験者は自覚しなければならないと思い、是非会員の皆様も一度は広島祈念式典に参加されることをおすすめします。何とかが変わらる気がします。

黒部ダム」へ

中央地区 佐々木 豊子

バス二号車に乗車。バスの中では上田市からのご夫妻の方に色々と教えて頂き、赤く紅葉しているのは「ウルシ」と教えてもらっている中に終点。名古屋さんの誘導旗を頼りに一六〇段の階段をやつと登りました。眼前にダムの風景が飛び込んできました。やつと巡り逢えたのです。ブナ林の見事さ、同室の方と散策。誰からともなく絶景に感嘆の言葉。虹を見ることができ一層心を和ませてくれました。このダムの建設で一七七名の方が殉職されたとのこと。近くの男性会員の方から、工事に従事していた方がコンクリートミキサーに巻き込まれて、コンクリートの中に眠っているなど、色々な話しづをしてくださいました。忘ることのできない大切な心。黒部ダムにサ



会員親睦旅行に参加して 松井地区 田中 文雄
本年の親睦旅行は願つてもない好天気に恵まれた九月二十九日～三十日、九十五名の多数の参加者のもと実施されました。
参加者は旧市役所前に集合し、地区別に二台のバスに分乗し、秋の信州へ一泊の旅である。
所沢を出発したバスは朝のラッシュの影響もなく中央自動車道に入り一路信州へ走り途中休憩と昼食を経て、一日目の見学地元善光寺へ。このお寺は善光寺如来様の古里と縁起に記されているが、それ程立派な建物ではなく静寂の中にある古寺である。極楽往生を誓願し元善光寺を後にバスは立山プリンスホテルへ。夜の宴会は盛会の中、恒例の「星影のワルツ」を合唱し閉会する。宴会の余韻は室に持ち帰り深夜まで交流を深め有意義な一日目を終わりました。
二日目は、黒部ダムと立山連峰の景観それに澄みきった空気、自然の魅力を満喫しました。今回の旅行では事務局の矢島専務、外職員の方々に大変お世話になり有難うございました。
所沢市シルバー人材センターの益々の発展と会員皆さんの一層のご活躍とご健勝を祈りま

短歌

三村 絹代

議室
一、内容 高齢者の健康管理に
ついて霧深き朝の散歩の山路をすすき
や萩の又美しく
山又山朝湯につかりて塩原の若

人達と旅する樂しさ

一人旅妻籠の里の石畳昔を忍び
しばしたたずむ

お知らせ

◎安全研修会の開催

平成九年度第二回目研修会を左記により開催いたします。内容濃い研修会です。多數会員皆様のご参加をお願い申し上げます。

一、日時 平成九年十二月十五日(月)午前九時より十一時まで

(配分金支払日)
一、場所 旧市役所庁舎四階会

ハ、一口メモ (例文: 我ら七口、随筆 (高齢化社会に対する心構え等) としてご寄稿ください

イ、感想文 (入会動機、就業にあたっての思い出等) としてご寄稿ください

◎会員作品展開催について
明平成十年の新年も左記により「会員作品展」を盛大に開催いたします。多數の会員皆様の出品ご参加をお待ちいたしますのでよろしくご協力の程お願いいたします。

一、日時 平成十年一月二十六日(月)~二十八日(水)三日間

一、場所 市内コンセールタワー二階「ふらっと」(昨年度と同一会場)

一、応募作品 絵画・書・各種

一、手工芸品・盆栽等

一、提出期限 平成十年一月二十日(火)まで(事務局へご持参ください)

なお金裁は初日(二十六日)午前十時に会場へ持参ください。

(註) 出品者には粗品を用意いたします。

十歳まだ現役頑張つて
ます)

一、原稿文字数 (一口メモを除き四百字詰め原稿用紙二枚以

内) 一月末まで。

一、その他 応募多数の場合実行を行います。つきましては左記により感想文等の募集を行いますので是非会員各位の「あの日、あの時の思い出のページ」

としてご寄稿ください

りますので予めご諒承下さい。

明平成十年の新年も左記により「会員作品展」を盛大に開催いたします。多數の会員皆様の出品ご参加をお待ちいたしますのでよろしくご協力の程お願いいたします。

一方国内。第二次橋本改造内閣のぶざま。行政改革の掛け声は上がれど成果の程は?庶民のための行政改革をやってもらいたい。医療費は公平な負担というが、高齢者にとつてはひどい仕打ち。皆んなの力で設立した当シルバー人材センターも来年には二十周年を迎える。

シルバー「ところざわ」も発刊六十号、文面も内容も読みやすく、親しみのある広報にと編集委員一同、心にかけ頑張っています。多數の皆さんのが投稿をお待ちしています。

六十号にちなんです。若返り応援歌「」を一節。(曲は汽笛一声で) 我等の人生六十から、何時も二コニコ朗らかに、七十で迎えに来たならば、只今留守だと言いいなさい。

では、明るく、楽しく、健康で。